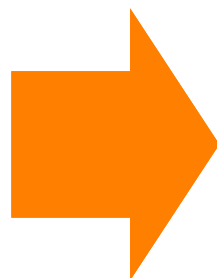


## 2-1 パソコンのコンピュータウイルスの感染

ウイルスの侵入や  
個人情報の流出

パソコンにセキュリティ対策を行わなかったため、子どもがアクセスした不正サイトからウイルスに感染してパソコンが動かなくなったり、個人情報が盗まれたりする被害が起っています。

多



小学5年生（男子）のAくんは、友だちの間で流行しているオンラインゲームの裏技や攻略法を無料でダウンロードできるサイトがあることを聞きました。

サイトにアクセスしたのですが、特に問題なくゲーム攻略法がダウンロードできたので、ウイルスに感染したことは気づきませんでした。

しかし、実際にはAくんのパソコンはウイルスに感染して、オンラインゲームのIDとパスワードが盗まれてしまいました。翌月、オンラインゲームの会社から多額の請求が届いて、初めてAくんはそれに気がつきました。

Aくんは、このゲーム攻略法サイトを別の友だちにも教えたので、友だちのパソコンもウイルスに感染してしまいました。

## (2-1) 事例の解説と気をつけること

ウイルスの侵入や  
個人情報の流出

気づかぬうちに不正サイトにアクセスしウイルスに感染した事例

### 【 解説 】

セキュリティ対策が不十分なパソコンでは、ウェブサイトを開覧するだけでウイルスに感染し、さらに、気づかないうちに家族や知人のパソコンにも広がる可能性があります。最近、スマートフォンをねらったウイルスも発見されています。

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）によると、平成23年1月には、月に20,000件を超えるウイルスの感染が検出されています。最近、気づかぬうちに悪意あるウェブサイトに誘導したり、ウェブサイトを開覧するだけで感染してしまうコンピューターウイルスが増えています。

（出典）コンピュータウイルス・不正アクセスの届出状況（2011年1月分）（平成23年2月；IPA）

### 気をつけること

1. 知らないうちにウイルスに感染し、周囲にも広めるおそれがある：
  - ・ウイルスは、パソコン内の「ウイルスの侵入を許してしまう弱点（ぜい弱性）」を悪用して侵入します。近年のウイルスは、パソコン画面の見た目では感染していることが分からないものが多くなっています。
  - ・自分のパソコンだけでなく、周囲の人や他の多くの人のパソコンにも感染を広めるおそれがあります。
2. 個人情報盗まれ悪用される危険性がある：
  - ・ウイルスに感染すると、名前や住所、電話番号などの個人情報が盗まれて悪用されたり、クレジットカード番号が盗まれて多額の請求が届いたりします。
3. ウイルス対策ソフトを導入し、最新の対策を施す：
  - ・ウイルス対策ソフト等を活用し、新種のウイルスにも効果が出るように、常に最新の定義ファイルに更新することが大切です。
  - ・スマートフォンをねらったウイルスも発見されており、ウイルス対策を施しましょう。

## 2-2 SNSやプロフからの個人情報流出による嫌がらせ

ウイルスの侵入や  
個人情報の流出

SNSやプロフなどに安易に自分の名前や学校名といった**個人情報を記載してしまっ**  
**たために、他の人に利用され、嫌がらせを受けるなどの被害が起こっています。**

多

深

犯

SNS：ソーシャルネットワーキングサービス（Social Networking Service）  
プロフ：自己紹介（プロフィール）サイト



中学1年生（女子）のAさんは、SNSの日記に熱心に書き込みをしています。

親友と撮った写真がとてもうまく撮れていたのも、SNSに載せました。その際、SNSに自分の名前や中学校名も一緒に書いてしまいました。

数日後に、Aさんは、自分の学校の生徒が画像掲示板に出ていると友だちから聞き、そのサイトを見てみると、**Aさんの写真が掲載されていました。**

しかも、本当ではないことや、自宅の電話番号まで、一緒に書き込まれてしまいました。

その結果、**自宅に嫌がらせの電話が毎日かってくるようになり、学校や家の近くで不審な人を見かけるようになり**ました。

## (2-2) 事例の解説と気をつけること

ウイルスの侵入や  
個人情報の流出

安易に個人情報を発信したため被害にあった事例

### 【 解 説 】

子どもたちは、「SNSやプロフは自分の友だちしか見ていない」と思いこみ、個人情報を掲載してしまうことがあります。しかし、SNSやプロフで発信した情報は、様々な人に見られる可能性があるため、個人情報を掲載することは非常に危険です。

また、最近の携帯電話には、写真データに位置情報を記録できる機能があります。そのため、SNSやプロフに写真を掲載するときは、位置情報を記録せずに撮影した写真であることを確認しましょう。

中学生のプロフ利用が増えています。文部科学省の調査では、中学2年生の45.4%が「他人のプロフやブログなどを見ている」と回答、13.9%が「自分のプロフを公開している」と回答しています。

(出典) 子どもの携帯電話等の利用に関する調査(平成21年5月;文部科学省)

### 気 を つ け る こ と

1. 個人を特定できるような情報は掲載しない：
  - ・自分や友だちに関する情報をインターネットで発信することは常に危険が伴います。SNSやプロフ上に、名前、学校名、住所、電話番号、メールアドレスなどの個人情報を安易に掲載しないようにしましょう。これは、自分の情報だけでなく友だちの情報でも同様です。
  - ・写真を掲載する場合は、位置情報を記録せずに撮影した写真であることを確認しましょう。
2. トラブルにあったら相談する：
  - ・トラブルにあった場合は、すぐに保護者や教師、スクールカウンセラーなど周りの大人に相談しましょう。
3. 保護者や教師は、SNSやプロフを確認する：
  - ・保護者や教師は、子どもが見たり作ったりしているSNSやプロフがどのようなものか、携帯電話やパソコンで実際に確認してみましょう。

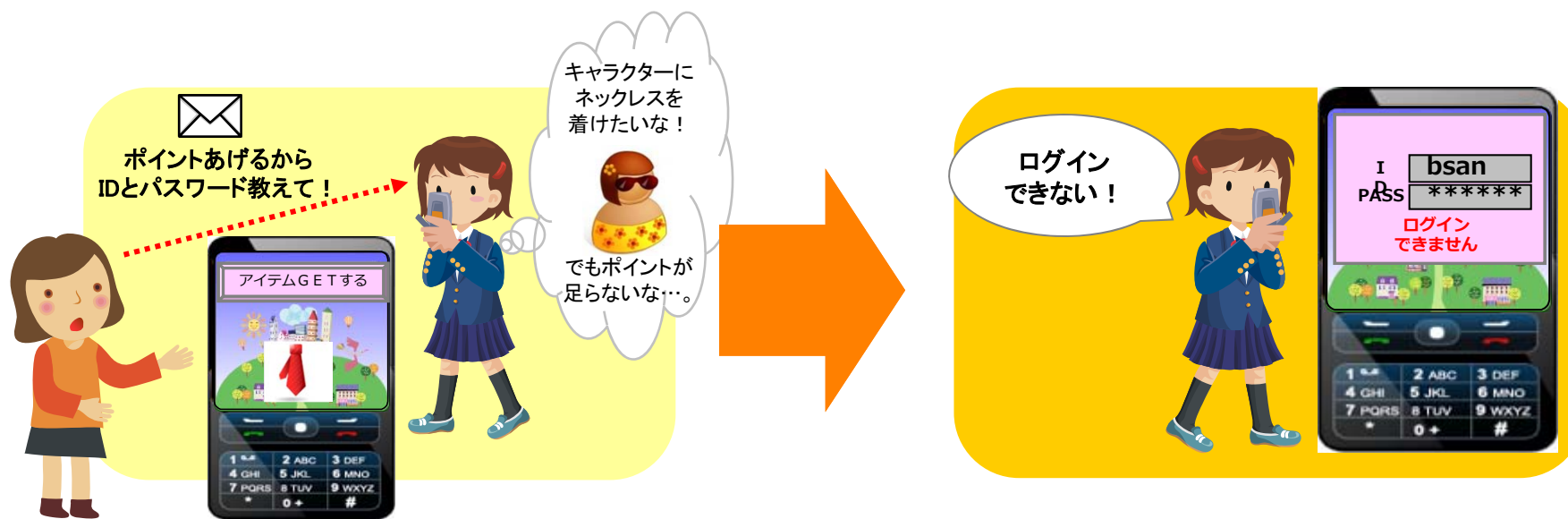
## 2-3 ID・パスワードを他人に教えたことによる不正アクセス

ウイルスの侵入や  
個人情報の流出

ID・パスワードを悪意のある他人に利用されて、不正アクセスの被害にあう事件が起こっています。SNS上のポイントを奪われるなどの事件も発生しています。

深  
犯

SNS：ソーシャルネットワーキングサービス（Social Networking Service）



小学生（女子）のAさんは、SNSで知り合った中学生（女子）のBさんに、「ポイントをあげるから、IDとパスワードを教えてください」とメールを送りました。

ポイントがほしかったBさんは、Aさんに、自分のIDとパスワードを教えてしまいました。

その後、BさんがSNSにログインしようとする  
と、パスワードが変更されていて、ログインできなくなっていました。

Bさんが警察に相談したことで、AさんによるSNSへの不正アクセスが発覚し、Aさんは補導されました。

## (2-3) 事例の解説と気をつけること

ウイルスの侵入や  
個人情報の流出

ID・パスワードを他人に教えたことによりトラブルになった事例

### 【 解 説 】

インターネット上で親しくなっても、見知らぬ人に自分のID・パスワードや個人情報を知らせることは危険です。SNSやプロフで友だちになって親近感や安心感を抱くうちに、信用して個人情報などを明かしてしまい、悪意のあるトラブルに巻き込まれることがあります。

平成23年2月、女子中学生のIDとパスワードを聞き出した女子小学生が、女子中学生のID・パスワードでSNSに不正に侵入し、不正アクセス禁止法違反容疑で補導されました。

### 気 を つ け る こ と

1. なりすましによる不正アクセスは犯罪である：
  - ・ IDやパスワードを盗み、他人になりすまして不正アクセスを行うことは犯罪です。
2. ID・パスワードは厳重に管理する：
  - ・ IDやパスワードは重要な情報であり、他人に知られないようにしましょう。
3. 個人を特定できるような情報は掲載しない：
  - ・ 自分や友だちに関する情報をインターネットで発信することは常に危険が伴います。SNSやプロフ上に、名前、学校名、住所、電話番号、メールアドレスなどの個人情報を安易に掲載しないようにしましょう。
4. トラブルにあったら相談する：
  - ・ トラブルにあった場合は、すぐに保護者や教師など周りの大人に相談しましょう。